

令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	28	学校名	大垣桜高等学校
------	----	-----	---------

学校教育目標 (教育方針)	(1)人間としての在り方・生き方を考えさせ、人間性豊かな生徒を育成する。 (2)専門知識・技術を生かして、生活産業や地域社会に貢献できる生徒を育成する。 (3)広く社会において、信頼と尊敬を得る社会性のある生徒を育成する。	
3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力の定着と家庭・福祉の専門的な知識・技術を身に付けるために、自ら学び自ら考え、主体的に学習に取り組む生徒 基本的な生活習慣を確立し、規範意識を身に付けて、正しく判断し、主体的に社会に貢献しようとする生徒 望ましい勤労観や職業観を養い、職業人として必要な豊かな人間性と能力の伸長に努める生徒
	生徒をどう育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 規律ある生活態度を身に付け、自ら判断し行動できる態度の育成 基礎的・基本的な学力の向上を図り、家庭・福祉の専門的な知識・技術を習得させ、一人一人の進路実現を支援 家庭や地域社会と連携・協働し、安全で安心な学校づくりを推進
	どんな生徒を待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身に付け、自ら学習環境を整えて充実した学校生活を送ろうとする生徒 家庭・福祉の専門的な学習をとおして、自ら課題を見つけ、解決し、地域社会に貢献しようとする生徒 情報モラルや規範意識の向上に努め、防災意識を高め、自分の命は自分で守るという強い意識をもった生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題を見付け解決できるための確かな学力の育成と、創造力を育てるための主体的・対話的な学習指導 地域産業を担う将来のスペシャリストとしての資質・能力の伸長と、主体的・意欲的な学習態度の育成 特色ある学習内容の魅力化を図り、中学校・地域・企業へ発信する機会と手段の工夫 	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 各教科・科目の目標を踏まえた工夫ある授業実践により、自律的な学習態度を定着させるとともに、自ら学ぼうとする学習態度の育成に努める。 主体的・対話的な授業をデザインし、「分かる授業」「意欲的に取り組む授業」の実践に努めるよう校内研修・授業改善を行う。
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> その時、その場でどのような行動が適切であるかを自分で考え、行動する自己指導能力を育成する。 共感的生徒理解を基盤とし、職員間の情報共有、共通理解、組織対応を徹底する。
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 社会において信頼と尊敬を得る人材を育成するために、基本的生活習慣、豊かな教養やマナーの定着、基礎学力の向上のための指導を充実する。 進路指導に対する全職員の共通理解を深め、高校3年間を見通した計画的・組織的なキャリア教育を行うとともに、ガイダンス機能を充実する。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 専門科目に関する基礎的な知識・技能を定着させ、各学科の専門的な分野の学習を深め、生活産業界や地域社会で活躍できる生徒を育成する。

年度目標			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興基本計画で の位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標
学習指導	校内研修を充実させ授業改善に努め、生徒の言語能力の育成を図り自己の言葉で発表・論述できる学習活動を工夫する。	8	施策Ⅱ-8 公開授業の活性化 授業参観報告
	公開授業を実施し、教材、教具の工夫や指導方法の研究をするとともに、効果的なICT活用の研究を継続する。	9	施策Ⅱ-9 学校関係者評価
	基礎学力を定着させ、自らの学びに興味・関心をもたせるとともに学習習慣の確率を図る。	8	施策Ⅱ-8 家庭学習時間調査
生徒指導	TPOに応じた挨拶・会釈・正しい言葉遣いを身に付けさせるとともに時間管理能力を育成する。	1	施策Ⅰ-1 遅刻者数のべ1000件以内
	交通安全・不審者対策・情報モラルに関する指導を充実させる。	19	施策Ⅲ-19 交通事故件数 情報モラル違反件数 心のアンケート
	教育相談を充実させ、いじめ防止について組織的に取り組む。	3	施策Ⅰ-3
進路指導	就業にかかわる体験的な学習や教育活動を通して、生徒が望ましい勤労観・職業観を身に付けることができるようにキャリア教育を推進する。	13	施策Ⅱ-13 生徒の進路実現 1回目の就職内定率
	面接指導などを通してコミュニケーション能力を養い、社会的・職業的に自立するための豊かな教養とマナーを身に付けることができるように支援する。	1	施策Ⅰ-1 基礎力診断テスト結果
	生徒が主体的に進路選択を行い、保護者の理解・協力が得られるように進路情報を提供し、積極的に進路実現を目指して努力するように支援する。	7	施策Ⅰ-7 学校関係者評価
その他	学科の特徴や生徒の実態を把握し、確かな学力の育成や専門的・実践的な指導を行うための授業研究に務める。	14	施策Ⅱ-14 学校関係者評価 各種検定・資格取得率
	地域と連携・協働や様々な実習・研修を通して職業・勤労に対する意識を高める。	4	施策Ⅰ-4 地域担い手事業等評価

年度末評価(自己評価)			
取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合評価 A. B. C. D

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年 月 日

学校関係者評価

実施日：令和7年 月 日